

1. 令和元年度第1回理事会報告

令和元年5月8日(水)16:00~18:30 東京国際フォーラムガラス棟G402にて標記理事会が開催されました。理事長報告、各種委員会報告、各支部活動報告、各総会開催準備報告の他、4項目の協議を行いすべて原案通り承認となりました。決定事項についてご報告いたします。

定時社員総会報告は会報381号に掲載しておりますのでご参照ください。

※参照HP:

[http://pathology.or.jp/side/pdf/KAIHO381\\_0127.pdf](http://pathology.or.jp/side/pdf/KAIHO381_0127.pdf)

1) 平成30年度事業報告ならびに収支決算に関する件

(1) 坂元常任理事より平成30年度事業報告案が示された。政府等委託・助成事業ということでAMEDのJP-AID事業ならびに国庫補助金の希少がん事業の実施、患者伝達確認のためのマニュアル等の作成を行ったことを新たに追加した。それ以外は、ほぼ例年通りの事業が実施された旨報告された。

(2) 引き続き坂元常任理事より平成30年度収支決算報告書案が示され、以下の説明があった。

AMEDによる委託事業、厚生労働省からの国庫補助金事業が行われ、受取委託収益は3億円ほどであった。その他、正味財産も大きな増減がなく健全な予算になっている。

(3) 当該年度の事業報告及びその附属明細、計算関係書類、公益目的支出計画実施状況のいずれも適切である旨の監事による監査報告書が示された。

以上の説明を受け、議長が原案の承認を会議に諮ったところ、満場一致で異議なく承認され、総会に提案することとなった。

2) 分子病理専門医規程の件

(1) 森井常任理事より分子病理専門医制度設立について以下の説明があった。

① がんゲノム医療が本格稼働し、その中で病理医が果たす責務は大きい。そのため病理学会は分子病理専門医制度を制定し、ゲノム医療において求められる技術や知識を身に付け、エキスパートパネル等で助言が可能な分子病理専門医を認定することとした。

② 認定対象は病理専門医資格保持者とする。

③ 病理専門医制度運営委員会の下に、分子病理専門医制度運営委員会を新設し、分子病理専門医制度の運営にあたる。さらに分子病理専門医制度運営委員会の下に、実務委

員会を置く。

(2) 同常任理事より、分子病理専門医制度新設にあたり、分子病理専門医規程の新設案、専門医制度規程改定案が示された。

以上の説明を受け、議長が原案の承認を会議に諮ったところ、満場一致で異議なく可決された。

3) 今期新入会員承認の件につき、議長より今期の名簿が示され、原案の承認を会議に諮ったところ、満場一致で異議なく可決された。

4) 総会審議事項等に関する件について5月10日開催の令和元年度社員総会議事次第案が議長より示され、原案の承認を会議に諮ったところ、満場一致で異議なく可決された。

2. 日本病理学会認定分子病理専門医(暫定)名簿掲載

日本病理学会認定分子病理専門医(暫定)とは:申請時がんゲノム医療中核拠点病院、がんゲノム医療拠点病院に所属の病理専門医を中心に所定の審査を経て認定された病理専門医です。現在の認定数は183名(2020年1月時点)で、現在の所属都道府県、氏名50音順に掲載しています。

所属都道府県 氏名

北海道	石田 雄介	宮城県	齊木由利子
北海道	石津 明洋	宮城県	齊藤 涼子
北海道	大塚 紀幸	宮城県	笹野 公伸
北海道	岡田 宏美	宮城県	藤島 史喜
北海道	桑原 健	宮城県	古川 徹
北海道	清水 亜衣	宮城県	渡辺 みか
北海道	鈴木 宏明	山形県	宇都宮 文
北海道	高桑 恵美	山形県	大江倫太郎
北海道	田中 敏	山形県	樺澤 崇允
北海道	田中 伸哉	茨城県	河合 瞳
北海道	谷野美智枝	茨城県	坂本 規彰
北海道	外丸 詩野	茨城県	松岡 亮太
北海道	畑中佳奈子	埼玉県	飯塚 利彦
北海道	松野 吉宏	埼玉県	西村 ゆう
北海道	三橋 智子	埼玉県	長谷部孝裕
青森県	鬼島 宏	埼玉県	藤野 節
青森県	黒瀬 顕	埼玉県	堀井 理絵
青森県	水上 浩哉	埼玉県	安田 政実
宮城県	北脇 優子	千葉県	荒木 章伸

千葉県	池田純一郎	神奈川県	平林 健一	大阪府	松井 崇浩	香川県	宮井 由美
千葉県	石井源一郎	神奈川県	宮城 洋平	大阪府	森井 英一	愛媛県	高畑 浩之
千葉県	伊丹真紀子	神奈川県	横瀬 智之	大阪府	吉澤 秀憲	愛媛県	寺本 典弘
千葉県	川名 秀忠	新潟県	梅津 哉	大阪府	和田 直樹	福岡県	秋葉 純
千葉県	桑田 健	新潟県	大橋 瑠子	兵庫県	井出 良浩	福岡県	大石 善丈
千葉県	小嶋 基寛	新潟県	高村佳緒里	兵庫県	伊藤 智雄	福岡県	小田 義直
千葉県	菅野 雅人	富山県	井村 穰二	兵庫県	梶本 和義	福岡県	孝橋 賢一
千葉県	深山 正久	富山県	中嶋 隆彦	兵庫県	児玉 良典	福岡県	真田 咲子
千葉県	藤井 誠志	富山県	濱島 丈	兵庫県	小松 正人	福岡県	瀧澤 克実
東京都	新井 恵吏	石川県	池田 博子	兵庫県	佐久間淑子	福岡県	田口 健一
東京都	牛久 綾	石川県	阪口 真希	兵庫県	中込 奈美	福岡県	三好 寛明
東京都	牛久 哲男	石川県	中田 聡子	兵庫県	廣田 誠一	福岡県	山田 裕一
東京都	大迫 智	長野県	岩谷 舞	岡山県	田中 健大	福岡県	山元 英崇
東京都	大西威一郎	長野県	上原 剛	岡山県	谷口 恒平	長崎県	中島 正洋
東京都	落合 淳志	静岡県	大石 琢磨	岡山県	都地 友紘	長崎県	福岡 順也
東京都	尾原健太郎	静岡県	河田 卓也	岡山県	柳井 広之	長崎県	二口 充
東京都	金井 弥栄	静岡県	杉野 隆	岡山県	吉野 正	鹿児島県	北薮 育美
東京都	北川 昌伸	愛知県	加藤 省一	広島県	有廣 光司	鹿児島県	谷本 昭英
東京都	桐村 進	愛知県	榊原 綾子	広島県	大上 直秀	鹿児島県	平木 翼
東京都	藏本 純子	愛知県	佐々木英一	広島県	武島 幸男	沖縄県	國吉 真平
東京都	佐々木 毅	愛知県	下山 芳江	香川県	門田 球一	海外	大原 悠紀
東京都	里見 介史	愛知県	鈴木 優香	香川県	羽場 礼次		
東京都	柴山 隆宏	愛知県	高野 桂				
東京都	下田 将之	愛知県	中黒 巨人				
東京都	関根 茂樹	愛知県	中村 栄男				
東京都	竹内 賢吾	愛知県	村上 善子				
東京都	竹本 暁	三重県	今井 裕				
東京都	田中 大貴	三重県	橋詰令太郎				
東京都	谷口 浩和	三重県	渡邊 昌俊				
東京都	中 智昭	京都府	片岡 竜貴				
東京都	中野 雅之	京都府	住吉 真治				
東京都	西原 広史	京都府	羽賀 博典				
東京都	橋本 大輝	京都府	南口早智子				
東京都	比島 恒和	京都府	吉澤 明彦				
東京都	平岡 伸介	大阪府	石井 真美				
東京都	堀口慎一郎	大阪府	伊藤 彰彦				
東京都	増田しのぶ	大阪府	井上 健				
東京都	元井 紀子	大阪府	奥野 高裕				
東京都	元井 亨	大阪府	倉重真沙子				
東京都	山下 享子	大阪府	桜井 孝規				
東京都	義岡 孝子	大阪府	佐藤 和明				
東京都	吉田 朗彦	大阪府	清水 重喜				
東京都	吉田 裕	大阪府	田原紳一郎				
東京都	吉田 正行	大阪府	長田 盛典				
東京都	吉田 研一	大阪府	中塚 伸一				
神奈川県	遠藤 陽	大阪府	中村ハルミ				
神奈川県	河内 香江	大阪府	野島 聡				
神奈川県	長宗我部基弘	大阪府	堀 由美子				
神奈川県	土居 正知	大阪府	本間圭一郎				
神奈川県	中村 直哉	大阪府	前田 大地				
神奈川県	畑中 一仁	大阪府	前西 修				

### 3. 第4回分子病理専門医講習会(5/16・東京)開催のご案内

第4回分子病理専門医講習会を2020年5月16日(土)、東京にて開催いたします。本講習会は、2020年12月20日(日)実施の「第1回分子病理専門医試験」受験のための講習会です。受験までに1回は受講していただく必修指定講習会になります。

第1回～第3回の講習会と同じテキスト、同じ講演内容です。未受講の方の参加を優先いたしますので、ご了解の程、何卒よろしく願いいたします。

第4回分子病理専門医講習会に関しては4月2日(木)13:00よりWEBにて受講受付を開始いたします。

※本講習会は、病理専門医資格更新の単位にはなりません。

※第5回は2020年9月27日(日)に東京で開催いたします。第1回分子病理専門医試験受験のためには、第1回～第5回分子病理専門医講習会のいずれか1回の受講が必要です。

<開催概要>

日時：2020年5月16日(土)

9:50(受付開始9:20)から16:00

(終了後、修了証等配布)

会場：富士ソフトアキバプラザ アキバホール  
プログラム：

<http://pathology.or.jp/senmoni/pdf/20200516PG.pdf>

受講料：25,000円(ハンドアウト代込み・当日配布)

受講申込：4月2日(木)13:00よりWEBにて受付開始予定

受講資格：日本病理学会認定 病理専門医  
(日本専門医機構認定も含む)

定員：160名 先着順

問い合わせ先：日本病理学会事務局  
jsp-admin@umin.ac.jp

#### 4. 令和元年度日本病理学会 100周年記念 病理学研究 新人賞公開2次審査の御案内

資格ならびに応募内容の厳正な審査の結果、8名が2次審査に選ばれました。3名の選考のために下記の日時に公開2次審査を行いますので、是非出席ください。

審査会日時：令和2年4月16日(木曜日)

14:20～16:20(予定)

場所：第109回日本病理学会総会 福岡国際会議場  
(福岡県福岡市)

参照HP：<http://www.congre.co.jp/jsp2020/>

候補者(発表順)：

- 1) 滝 哲郎(名古屋大学大学院 医学系研究科 病態病理学講座 腫瘍病理学)  
「GPI アンカー型タンパク質 CD109 は肺腺癌の間質浸潤の制御因子である」
- 2) 加藤 大祐(三重大学医学部大学院医学系研究科 修復再生病理学講座)  
「癌進展及び炎症制御に対する Tenascin-C の役割」
- 3) 松本 穰(徳島大学大学院医歯薬学研究部 疾患病理学分野)  
「AIRE による糖尿病抵抗性獲得機構の実験病理学的解析」
- 4) 加島 淳平(東京大学大学院医学系研究科 病因・病態学専攻 人体病理学・病理診断学分野)  
「胸部悪性腫瘍(肺癌・胸腺癌)における免疫制御分子の発現と予後の解析」
- 5) 森川紳之祐(愛媛大学大学院医学系研究科 解析病理学講座)  
「炎症惹起複合体 inflammasome の病態関与に対する分子生物学的基盤に基づく解析手法の確立」
- 6) 吉田 沙織(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔病理学分野)  
「口腔癌を取り巻く腫瘍微小環境に関する組織学的検討」
- 7) 沢田 圭佑(埼玉医科大学総合医療センター 病理部)  
「TP53 を基軸とした口腔上皮性異形成の分子病態の理解」
- 8) 箱崎 真結(東京大学大学院医学系研究科 病因・病理学専攻 人体病理学分野)  
「脳内でβアミロイドシスを誘発する可溶性 Aβオリゴマーの解析」

以上、8名

#### 5. 第14回 診断病理サマーフェストー病理と臨床の対話一開催のお知らせ

本年度の診断病理サマーフェストを下記の要領で開催いたします。

テーマ：呼吸器疾患の病理と臨床

会期：2020年9月5日(土)・6日(日)

会場：神戸大学先端融合研究環統合研究拠点  
コンベンションホール

〒650-0047

兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-48

対象者：呼吸器病理学に興味のある病理医、臨床医、放射線科医、臨床検査技師

形式：講義、質疑応答

内容：

9月5日(土)

##### 【第1部】

肺癌

肺癌の臨床：病理診断への期待

肺癌・胸部腫瘍の画像診断

肺扁平上皮癌の病理診断

肺癌のがんゲノム診断

##### 【第2部】

稀な胸部腫瘍(その1)

病理診断に悩む胸部腫瘍概説

稀な肺腫瘍の病理診断

9月6日(日)

##### 【第2部】

稀な胸部腫瘍(その2)

縦隔腫瘍(胸腺)

胸膜腫瘍(中皮腫)

##### 【第3部】

非腫瘍性肺疾患

間質性肺疾患の臨床

間質性肺疾患の画像診断

間質性肺疾患の病理診断

プログラム詳細：

<http://pathology.or.jp/summerfestP-200302.pdf>

定員：330名(予定)

参加費：20,000円(初期・後期研修医、大学院生、臨床検査技師15,000円)

参加申込：HPをご参照ください

参照HP：

<http://pathology.or.jp/news/summerfest-200302.html>

※会場までの交通・宿泊の手配は、各自にてお願いしております。パラリンピック開催期間と重なりますので、早めのお手配をお勧めいたします。

世話人：元井 紀子(国立がん研究センター中央病院病理診断科)

参加申込先：株式会社学会サービス 内  
〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-3-101  
TEL：03-3496-6950 FAX：03-3496-2150  
E-mail：dpsf14@gakkai.co.jp

主 催：一般社団法人日本病理学会

#### 6. 【周知依頼】世界保健機関（WHO）による新型コロナウイルスに関する「疾病、傷害及び死因の統計分類第10版（ICD-10）」における対応について

標記の件につき、厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室長より周知依頼がありました。詳細は下記のURLを参照下さい。

<http://pathology.or.jp/news/pdf/20200214info.pdf>

#### 7. 【周知依頼】先進的感染症検査マップ公開について

標記の件につき、日本感染症学会より周知依頼がありました。詳細は下記のURLを参照下さい。

<http://www.kansensho.or.jp/modules/idmap/idmap.html>

#### 8. 会員の訃報

以下の方がご逝去されました。

久野 敏 元学術評議員(令和元年12月23日ご逝去)

## お知らせ

#### 1. 日本顕微鏡学会第76回学術講演会

会期：2020年5月25日（月）～27日（水）

会場：大阪国際交流センター（大阪市天王寺区）

参照HP：

<http://conference.wdc-jp.com/microscopy/conf2020/index.html>

#### 2. 第72回保健文化賞について

本学会からの推薦を希望される場合は下記HPを確認の上、3月19日までに学会事務局宛ご連絡下さい。

参照HP：

<https://www.dai-ichi-life.co.jp/dsr/society/challenges/hoken02.html>

問い合わせ先：第一生命保険株式会社 DSR推進室

TEL：050-3780-6950

#### 3. 第25回慶應医学賞について

本学会からの推薦を希望される場合は下記HPを確認の上、3月3日までに学会事務局宛ご連絡下さい。

参照HP：

<https://www.ms-fund.keio.ac.jp/news/prize/2020/02010835.html>

問い合わせ先：慶應義塾医学振興基金事務局

TEL：03-5363-3609

#### 4. 令和2年度第61回東レ科学技術賞および第61回東レ科学技術研究助成候補者推薦について

本学会からの推薦を希望される場合は下記HPを確認の上、8月末日までに学会事務局宛ご連絡下さい。

参照HP：

[http://www.toray-sf.or.jp/information/200218\\_02.html](http://www.toray-sf.or.jp/information/200218_02.html)

主催：公益財団法人東レ科学振興会

（推薦要領・推薦書の各学・協会への発送とホームページへの掲載は、6月中旬を予定）

#### 5. (公財)持田記念医学薬学振興財団より

(1) 2020年度持田記念学術賞（褒賞金）候補者推薦について

標記について本学会からの推薦を希望される方は、下記HPを確認の上、2020年4月9日（木）までに病理学会事務局宛ご連絡下さい。

(2) 2020年度研究助成金、留学補助金交付対象者募集について

詳細は下記HPをご参照下さい。

(1)(2) 共通参照HP：<http://www.mochida.co.jp/zaidan/>

問い合わせ先：(公財)持田記念医学薬学振興財団

〒160-0003 東京都新宿区本塩町7-6

四谷ワイズビル

TEL：03-3357-1282 FAX：03-3357-1264

E-mail：[zaidan@mochida.co.jp](mailto:zaidan@mochida.co.jp)

#### 6. 第16回(令和2(2020)年度)日本学術振興会賞について

本学会からの推薦を希望される場合は下記HPを確認の上、3月13日までに学会事務局宛ご連絡下さい。

参照HP：<http://www.jsps.go.jp/jsps-prize/>

問い合わせ先：独立行政法人日本学術振興会

人材育成事業部 研究者養成課

「日本学術振興会賞」担当

TEL：03-3263-0912

#### 7. 第20回(令和2年度)(一財)材料科学技術振興財団山崎貞一賞候補者について

募集期間：2020年3月15日（日）～4月30日（木）

参照HP：<https://www.mst.or.jp/Portals/0/prize/index.html>

問い合わせ先：一般財団法人材料科学技術振興財団

山崎貞一賞事務局

TEL：03-3415-2200 FAX：03-3415-5987

E-mail：[prize@mst.or.jp](mailto:prize@mst.or.jp)